

緑の風 FAX版



NO. 82 2021年4月26日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

福知山線脱線事故から16年

2005年4月25日に発生した、107名が犠牲となった福知山線脱線事故から16年が経過しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。また、ご遺族の方々へ哀悼の意を表します。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、JR西日本が主催する追悼慰霊式は2年連続で中止となりました。



JR西日本ホームページより

JR西日本では、事故後に入社した社員が全体の半数を超えた中、JR西日本は、事故を起こした車両を研修施設に移して保存し、社員向けの安全教育で活用する方針を示しています。

祈りの杜

福知山線列車事故現場

お亡くなりになられた方々の慰霊・鎮魂の場として、また、将来にわたり事故の痕跡を保存し、事故を決して風化させることなく、いのちの大切さを社会や後世に伝え続けていく場として、JR西日本が整備しました。

運輸安全委員会の事故調査報告書では、この事故の原因として、会社による懲罰的日勤教育や懲戒処分等の運転士管理方法が関与した可能性が考えられると報告されています。

悲惨な事故の経験や教訓をどう継承していくかは大きな課題であり、二度と発生させない体制の確立はご遺族の願いでもあります。事故を風化させることなく、語り継ぎ、教訓を活かしていくことが何よりの追悼の意ではないでしょうか。

私たち一人ひとりにできることは何か。

労働組合として、社員と乗客の命を守るため、発生した事故や事象に対して原因究明委員会の議論を深め、「責任追及から原因究明へ」の安全文化の定着と再発防止に向けた職場風土の実現を目指していきましょう！